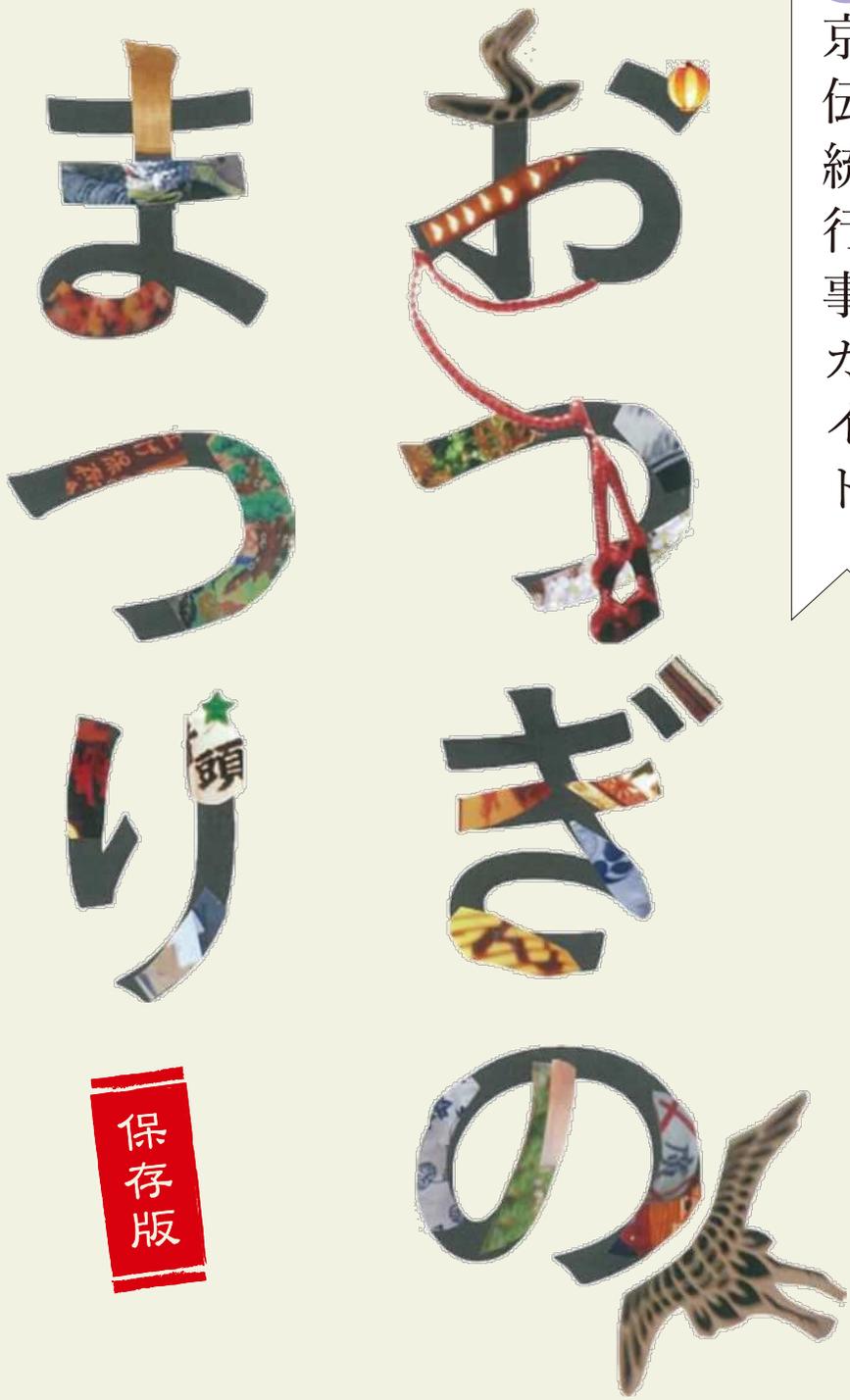


左京伝統行事ガイド



保存版

左京祭礼 マップ



Map



京都市

左京区



4

おつぎのまつりも片手に
気になるお祭りへ出掛けてみませんか？

おつぎのまつり
マスコットキャラクター

獅子 ようくん
さきちゃんの子の箱。
元気がよくておしゃべり好き。
いつもさきちゃんとお祭りの話をしている。



狛犬 さきちゃん
ようくんの双子の箱。
ようくんとは違って物静か。
左京区のお祭りが大好きでとても嬉しい。





p.44-45 広河原松上げ



p.46 広河原ヤッサ踊り・ヤッサコサイ踊り
観音堂

p.41 久多宮の町松上げ



p.42-43 久多花笠踊り
志古淵神社

p.40 花春松上げ



p.47 久多山の神・お弓
志古淵神社



南部

▼ページ番号

- 04-05 …… 一乗寺八大神社の剣鉾
- 06 …… 鉄仙流白川踊
- 07 …… 大文字送り火
- 08 …… 瓜生山不動明王霊祭
- 09 …… 修学院大日踊り・紅葉音頭
- 10 …… 一乗寺鉄扇
- 11 …… 北白川高盛御供
- 14 …… 還幸祭 [北白川天神宮]
- 15 …… 木瓜大明神の剣鉾
- 16 …… 吉田今宮太鼓
- 17 …… 氏子大祭 [田中神社]
- 18 …… 火焚祭 [満足稲荷]
- 19 …… 節分祭 [吉田神社]

特集

Pick Up! 「北白川高盛御供」
12-13 珍しいお供え物

▼ページ番号

- 22 …… 湯立祭 [長谷八幡宮]
- 23 …… 市原ハモハ踊・鉄扇
- 24-25 …… 鞍馬山竹伐り会式
- 26-27 …… 松ヶ崎題目踊・さし踊
- 28 …… 松ヶ崎妙法送り火
- 29 …… 上高野念仏供養踊
- 30 …… 大原八朔踊
- 31 …… 八瀬赦免地踊り
- 32 …… 鞍馬の火祭
- 33 …… 烏帽子着 [木野愛宕神社]
- 34 …… 石座例大祭
- 35 …… 例祭 [幡枝八幡宮]
- 36 …… 祭礼 [新宮神社・白雲稲荷]
- 37 …… 大原上野町おこない・お弓

中部

特集

みんなで櫓を囲んで
20 左京区踊りのわ

特集

38 鞍馬の火祭から見る継承と環境
繋ぐ未来 続く思い

▼ページ番号

北部

- 40 …… 花春松上げ
- 41 …… 久多宮の町松上げ
- 42-43 …… 久多花笠踊
- 44-45 …… 広河原松上げ
- 46 …… 広河原ヤッサ踊り・ヤッサコサイ踊り
- 47 …… 久多山の神・お弓

48

キョウノマツリゴトメンバーからの
編集後記



はじめに



平成23年度から10年間の左京区のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画第2期)は、「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ『豊かなところ』を伝えます」をキャッチフレーズに、左京区に暮らす区民の皆様が互いに交流を深めながら、左京区の魅力である美しい自然や豊かな歴史、多彩な文化を未来に受け継いでいくことを目標としています。この目標の達成に向かって、左京区役所では、区民・事業者・大学等の皆様と協働で様々な取組を展開しています。

左京区には国の重要無形民俗文化財である久多花笠踊をはじめ、登録件数の約半数を占める24件の京都市登録無形民俗文化財など伝統行事が集中しております。この『おつぎのまつり 左京伝統行事ガイド』は、区内に数多く保存・継承されている行事の魅力や伝統を守り続けることの大切さを再発見・再認識し、個性あふれる区づくりに活かすために発行しました。作成にあたっては京都市の祭礼を取材・調査している京都造形芸術大学「キョウノマツリゴト 2015」プロジェクトの学生の協力を得ました。伝統行事の成り立ちや祭具の紹介等、見に行くだけでは分からない情報も掲載し、改めてその魅力に気付いていただける内容となっています。そして、本誌のタイトルは区内でたくさんの伝統行事が次々と行われることと、伝統行事を継ぐことを大切にす区民の皆様の思いを合わせ、「おつぎのまつり」としました。

この「おつぎのまつり」を通して、区民の皆様が左京区への理解を深めていただき、更なる愛着を抱いていただく一助となれば幸いです。この魅力ある左京区を更に素晴らしい魅力あふれる左京区にするため、区民の皆様と力を合わせ、職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

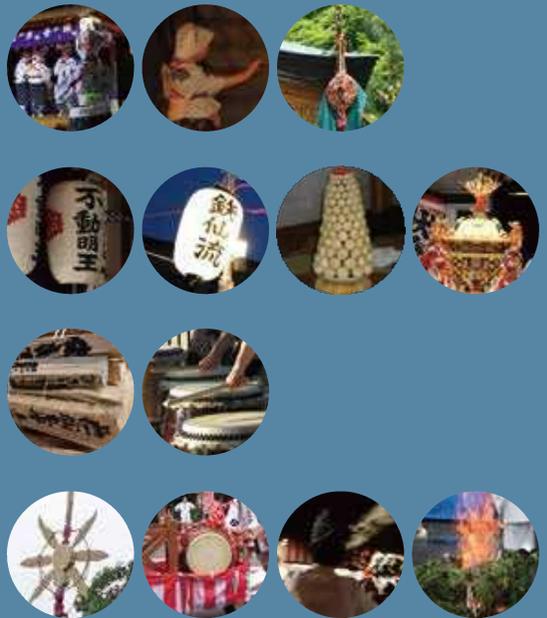
左京区長 鶴谷 隆

本誌の掲載情報は2015年5月から2016年2月に行った実地及びヒアリング調査に基づき執筆し、各祭礼保存会が確認を行ったものです。

各祭礼の実施日・場所等は変更になることがあります。また、荒天による延期・中止等も祭礼により判断が異なることがありますのでご注意ください。

楽しみと多彩さが
おりなす地域

南部



この地域では様々な種類の伝統行事が行われています。なかでも、夏の風物詩である大文字と妙法の送り火や、吉田神社の節分祭は有名です。さらに全国ではあまり見られない剣鉾があります。八大神社の神幸祭では京都に昔から継承されてきた剣鉾を間近で見ることができます。他にも踊りや御神輿など、この地域の伝統行事は多彩で楽しみが尽きません。南部は左京区の中でも観光地が多いので、観光と一緒に祭りへ足を運んでみるのはいかがでしょうか。

町内に響く清らかな鈴の音

いちじょうじはちだいじんじゃ

一乗寺八大神社

けんぼこ

剣鉾

京都市登録無形民俗文化財

祭事 info

5/5 12:30~16:30

京都市左京区一乗寺松原町1

市バス(5・北8系統) 京都バス(18・56系統)
「一乗寺下り松町」徒歩7分
叡山電鉄「一乗寺」徒歩10分

一乗寺八大神社では、5月5日に勇壮な剣鉾を先駆けに御神輿が街中を練り歩く神幸祭が行われます。

剣鉾には悪霊を鎮める役割があり、剣が前後に揺れる様子には神を招く意味が、鈴の音には靈魂を鎮める効果があるとされ、神が渡る道筋を祓い清めます。長さ約5mもの剣鉾を前後や上下に揺らし、鈴を鳴らしながら歩きます。時には電線すれすれのところもあり、見ている側も思わずヒヤリとしてしまうこともあります。



剣鉾を鳴らすためには高い技術と同時に相当な力が必要とされるため、この仕事は男性たちの役割。力強くも繊細なその技術には長年受け継がれてきた歴史の深さと格式を垣間見ることができます。また、八大神社から坂を下った白川通りの交差点は上一乗寺と下一乗寺の御神輿がすれ違う場所であり、祭りで一番華やかな場面を見ることができます。



剣鉾という名称はここ20~30年前から広まりました。昔は単に「鉾」と呼ばれていましたが、祇園祭で使われる鉾と区別するためにそのように呼ばれるようになりました。剣鉾は「柏」「龍」「菊」の三基があり、どれも5m前後ありますが龍が最も長く、柏が一番短く作られています。

約5m

次の世代へ

劍鉾を差す人は”劍鉾差し”と呼ばれ、劍鉾を持ち差す人と立て降ろしなどを手伝う2人の最低3人が必要であり、役割を交代しながら巡行路を進みます。

劍鉾を着実に扱える技術を習得するのに3年ほどの期間が必要であり、年間を通じて月2回、祭りが近づく時期には10日間ほど連続して稽古が行われます。

三基の劍鉾には12名ほどの劍鉾差しが参加し、また子ども用劍鉾には地域の小学校のPTAが呼びかけて参加者を募っています。

劍鉾は維持や保管、技術の継承が困難なものであるため、八大神社のように差し手が途切れないのは京都の中でも珍しく、この祭りは京都市登録無形民族文化財にも指定されています。

劍の部分は真鍮の中でも特に弾性が高いものでできています。劍身の中央に入れたスリットは空気を抵抗を抑えています。

▶ 龍の飾りの劍鉾は「龍鉾」です。昇り龍の二つの飾りがあしらわれており、劍鉾では珍しい左右非対称の造形になっています。

▶ 「まねき」
劍先のこと。劍鉾が進むときに前後に揺らし、神様を招くという意味からそう呼ばれます。

差し手が腰に付け劍鉾を支える専用の「差皮」は一つ一つ手作りされます。劍鉾を差し込む箇所には牛革をなめしたものを使用されとても頑丈です。

「柏」

「龍」

「菊」